令和6年度 沖縄県立那覇国際高等学校 学校評価						学校関係者評価					
1 学校経営目標		①全職員での課題の共有化と協働・協力体制の確立 ④キャリア教育の視点を取り入れた進路指導の充実 ⑦各科(普通科、国際科)の特色を生かした魅力ある学校づくり	②家庭や地域及び関係機関と連携した開かれた学校づくり ⑤学校事務の適正な管理・運営及び学習環境の整備・充実	③確かな学力と国際的な広い視野を持った人材の育成 ⑥働き方改革の推進及び職員の資質・能力の向上							
2 取り組み課題		①各部・各学年・各教科間及び管理者との迅速かつ綿密な報告・連絡・相談体制の構築 ②学校の情報発信と保護者や関係機関との連携・協力による教育活動の展開 ④キャリア教育の充実と主体的学習者の育成による学力向上 ⑥教職員の規範意識の高揚や資質能力の向上、並びに働き方改革の視点にたった業務改善 ⑦新学習指導要領の研究及び生徒の実態や関心に応じた教育課程の編成			③組織的・計画的な学力向上及び交流・体験活動への取組 ⑤予算・施設・人事管理、その他学校事務に係る適切な学校運営	A B:適切である C:やや適切である D:不適切である					
3 評価		A(4.0～3.2) B(3.1～2.4) C(2.3～1.6) D(1.5～1.0)									
項目	具体的目標	取組方策	自己評価・外部評価				改善案	評価	意見等		
			教職員	生徒	保護者	総合					
学校経営	魅力ある学校づくり	1 学校教育目標の具現化に向けて、各チームの連携を密にし、円滑な校務運営に努める。	3.4	A	3.5	A	3.4	A	A	○新校時程の丁寧な検証を通して、生徒からの声も取り取りながら、自主的に学習する習慣づくりができる環境整備を引き続き、整えていただきたい。今後、より一層SGHネットワーク研究校として、地域や外部との連携を推進できるような、様々なアプローチで生徒の学ぶ機会を創出していただければと思う。学校の広報活動については、工夫が凝らされていると思う。また、12月に行われた学校内のイルミネーションについても、新聞記事に掲載されるなど、学校外での発信にも尽力していた。引き続き、情報発信に取り組んでいただきたい。○項目3:「問題解決を図る生徒の育成」について:教職員、生徒の評価が低い(3,1)ことが気になる。○項目4:「国際性・協調性の育成」について:生徒の評価が、全項目の中で最も低い(3,0)。○「3」と「4」の取組方策について、教職員と生徒の自己評価が昨年度とほぼ同じ結果で、教職員と生徒の評価の差が気になる。提供している国際理解教育のプログラムや海外研修等への魅力に生徒や保護者が気付いていないケースもあるのかもしれない。また、引き続き総評の成果発表等については、保護者も参加できるような場を提供できると良いと思う。	
		2 教育課程の円滑な実施・研究改善に努める。	3.5	A	3.2	A	3.3	A	A		
		3「SGHネットワーク研究校」として、総合的な探究の時間を通し、他者と協働して課題解決を図る生徒を育成する。	3.1	B	3.1	B	3.3	A	A		
		4異文化理解を深める学習活動を通して、「国際性・協調性」の育成に努める。	3.5	A	3	B	3.2	A	A		
	保護者・地域との連携	5 学校HPの活用、校舎壁・フェンスに懸垂幕・横断幕の掲示等により情報発信に努める。	3.6	A	3.4	A	3.6	A	A		
		6 三者面談等を実施し、保護者との連絡を密に行う。	3.8	A	3.4	A	3.3	A	A		
授業・学習	授業改善(学力向上)	7 年間指導計画や評価方法について共有する。	3.6	A	3.4	A	3.3	A	A	○全体的に、ICTを活用したPDCAサイクルの自主的な学習リズムが定着していると見受けられる。情報活用能力に関しては、今後、人工知能や生成AIの活用などを通じて、生徒の学習意欲をさらに引き出す機会を増やしていただきたい。また、図書資料については、多様な情報が増加している現状を踏まえ、情報リテラシーや情報収集方法を学ぶ機会を設けるとともに、書評などを通して自身の考えや意見を表現する場を提供することで、発表者の個性や知識、背景に対する相互理解を深める機会を拡充することが求められると考える。○項目9:「主体的に学習に向かう態度の育成」について:教職員・生徒・保護者の評価が、全体の中で低いことが気になる。○項目11:「ICTの活用」について:三者(教職員・生徒・保護者)の評価が高い。○生徒と保護者からの評価が総じて昨年よりも上がっているところに、先生方の熟意や改善への努力がしっかりと伝わっていると感じる。	
		8 不断の授業改善により、わかる授業を実践する。	3.7	A	3.3	A	3.2	A	A		
		9 主体的に学習に向かう態度を育成する。	3.2	A	3.3	A	3.2	A	A		
		10「主体的・対話的で深い学び」による授業改善を通して、「向学心や探究心」を育てる。	3.6	A	3.6	A	3.3	A	A		
	ICTの活用	11 タブレット端末、スマートフォンなどICT機器を活用し情報活用能力を育成する。	3.6	A	3.6	A	3.5	A	A		
	図書館利用の充実	12 図書資料の収集・整理・提供に努めるとともに、生徒及び職員の図書館利用を促進する。	3.7	A	3.6	A	3.2	A	A		
特別活動	学校行事等の充実	13 生徒会活動・HR活動の充実を図り、自主的・実践的な活動を企画・運営できる力を育成する。	3.7	A	3.5	A	3.4	A	A	○学校説明会(中学生向け)の際にも、様々な工夫が凝らされていた印象。部活動も体育系以外の書道などのパフォーマンスなど、文化系の活動も活発にされている事を感じていることで多様な学生さんが入学したいと思ってくれていると思う。○地域トップレベルの進学校という声が増えている中で、部活動での成果も昨年同様維持できている事は素晴らしいと思う。	
	部活動の充実	14 右文尚武(学業を尊び、部活動にも励む)を身に付けた逞しく生きる主体的な人間を育成する。	3.6	A	3.4	A	3.3	A	A		
生徒指導	基本的な生活習慣の確立	15 凡事徹底(時間厳守、あいさつ、返事、身なり、整理整頓等)が実践できる力を育成する。	3.2	A	3.4	A	3.3	A	A	○職業講話や学園祭など、本校に来校した際に、元気が挨拶を通してもたらした印象がある。身だしなみなども、引き続き、規律を持って励んでいただけないかと思う。○声を出して挨拶できる生徒の比率が高くなってきている印象があります。○教職員・生徒の皆さんには外部の方や関係者などへのあいさつをきちんと出来るようになってほしい。	
	安全教育の充実	16 自他の生命を尊び、安全で安心な社会づくりに貢献できる力を育成する。	3.5	A	3.3	A	3.3	A	A		
人権教育	人権尊重教育の推進	17 人権ガイドブックの活用、実践的な服務研修の充実を図る。	3.6	A	3.3	A	3.3	A	A	○人権に関する研修はグローバル人材として欠かせない重要な項目だと思う。研修や講演会だけでなく、自分事になるようなワークショップのような意見交換をする機会も作ってほしい。○社会で活躍する卒業生の方が増えてきているので、研修や講演会にもその繋がりが役立つことを願う。	
	人権教育の充実	18 いじめや体罰等の早期発見と解決に努める。	3.5	A	3.3	A	3.2	A	A		
進路指導	進路意識の向上	19 目的意識を持って主体的に自己の進路を選択・決定できる力を育成する。	3.2	A	3.3	A	3.3	A	A	○進路の選択において、悩むことも多いかと思うが、教員や保護者の皆様が温かくサポートされてきた事で、自身の選択で未来を切り拓いていく意欲が高まると思う。以前、飛躍手帳をもつと活用するためにはという改善点が挙げられたと思う。今後、希望進路の実現ができるよう、取り組んでいただけたらと思う。○どの項目も生徒は「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の合計が90%を超えており、取組方策の意図も伝わっており、成果も上がっていると感じられる。	
		20 将来の職業を見据え、主体的にキャリアプランを考える力を育成する。	3.7	A	3.5	A	3.4	A	A		
	進路相談の充実	21 進路相談の充実と環境整備を図る。	3.6	A	3.4	A	3.4	A	A		
健康・安全管理	健康教育の充実	22 健康の保持増進と自他の生命を尊重する健康教育を行う。	3.7	A	3.3	A	3.3	A	A	○様々な情報が飛び交う現代において、生徒の皆さんは、自身のメンタルケアを行う事に不安も多くあるかと思う。その中で、学校が安心して学び、友人などと交流できる環境である事が大切であり、個人情報の取り扱いや相談内容の取り扱いを丁寧に対応してもらえたいかと思う。以前、学校を訪問した際に、保健室に「織細さん」についての案内掲示があり、相談しやすい空気感があるなど感じた。この様な様々な悩みを気軽に相談しやすい環境づくりに引き続き、取り組んでいただきたいと思う。○教職員、生徒、保護者のそれぞれの評価が、全ての項目について昨年度よりも上がっているが、特に保護者へ学校側の努力が伝わっている様子が数字に表れている。	
	教育相談の充実	23 保健室やスクールカウンセラーと連携し、教育相談の充実を図る。	3.8	A	3.4	A	3.2	A	A		
	教育環境の整備・安全管理	24 校内美化、教育環境の整備・安全管理の充実を図る。	3.3	A	3.4	A	3.3	A	A		
働き方改革		25 同僚・管理職との良好な人間関係の構築ができている。	3.4	A					A	○教員の皆様の働き方改革も、生徒の皆さんと向き合う大切な時間に充てられる事に繋がるかと思う。業務量の柔軟なマネジメントできる環境を整えていただければと思う。合わせて、学校事務の仕組みとして、デジタル化を進めることで業務効率に繋がるとも考えられるが、まずは教員の皆さんが何に困っているのか、課題の抽出から解決策に繋げていただければと思う。○「教職員の働き方改革」は、全国的な課題。令和5年度に「働き方改革推進課」が新設された全体で取組を推進している。さらなる取組強化を期待したい。○項目26:「ゆとりある時間の確保」について:教職員評価(2,6)が気になる。全評価項目の中で、評価が3.0を下回る項目が、唯一、項目26である。○先生方の方と身体の健康が心配。特に「26」については、「あまりあてはまらない」と「まったくあてはまらない」の合計が半数であり、外部との連携も含めた改善への取組方策が必要かと思う。	
		26 個人の裁量(ゆとり)ある時間の確保ができている。	2.6	B					B		
		27 一人一人の生徒との信頼関係を深めることができる。	3.3	A							A
		28 より専門性を発揮するための研修や教材研究等が充実している。	3.2	A							A
		29 心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができている。	3.1	B							B

令和6年度 学校評価(全体集計)

選択肢 ④よくあてはまる ③ややあてはまる ②あまりあてはまらない ①まったくあてはまらない

評価 A(4.0~3.2) B(3.1~2.4) C(2.3~1.6) D(1.5~1.0)

回答者数 1268

項目	具体的目標	取組方策	教職員 (74)		生徒 (776)		保護者 (418)		総合 評価
学校経営	魅力ある 学校づくり	1 学校教育目標の具現化に向けて、各チームの連携を密にし、円滑な校務運営に努める。	3.4	A	3.5	A	3.4	A	A
		2 教育課程の円滑な実施・研究改善に努める。	3.5	A	3.2	A	3.3	A	A
		3 「SGHネットワーク研究校」として、総合的な探究の時間を通し、他者と協働して課題解決を図る生徒を育成する。	3.1	B	3.1	B	3.3	A	A
		4 異文化理解を深める学習活動を通して、「国際性・協調性」の育成に努める。	3.5	A	3.0	B	3.2	A	A
	保護者・地域 との連携	5 学校HPの活用、校舎壁・フェンスに懸垂幕・横断幕の掲示等により情報発信に努める。	3.6	A	3.4	A	3.6	A	A
		6 三者面談等を実施し、保護者との連絡を密に行う。	3.8	A	3.4	A	3.3	A	A
授業・ 学習	授業改善 (学力向上)	7 年間指導計画や評価方法について共有する。	3.6	A	3.4	A	3.3	A	A
		8 不断の授業改善により、わかる授業を実践する。	3.7	A	3.3	A	3.2	A	A
		9 主体的に学習に向かう態度を育成する。	3.2	A	3.3	A	3.2	A	A
		10 「主体的・対話的で深い学び」による授業改善を通して、「向学心や探究心」を育てる。	3.6	A	3.6	A	3.3	A	A
	ICTの活用	11 タブレット端末、スマートフォンなどICT機器を活用し情報活用能力を育成する。	3.6	A	3.6	A	3.5	A	A
		12 図書資料の収集・整理・提供に努めるとともに、生徒及び職員の図書館利用を促進する。	3.7	A	3.6	A	3.2	A	A
特別活動	学校行事等の 充実	13 生徒会活動・HR活動の充実を図り、自主的・実践的な活動を企画・運営できる力を育成する。	3.7	A	3.5	A	3.4	A	A
	部活動の充実	14 右文尚武(学業を尊び、部活動にも励む)を身に付けた逞しく生きる主体的な人間を育成する。	3.6	A	3.4	A	3.3	A	A
生徒指導	基本的な生活 習慣の確立	15 凡事徹底(時間厳守、あいさつ、返事、身なり、整理整頓等)が実践できる力を育成する。	3.2	A	3.4	A	3.3	A	A
	安全教育の 充実	16 自他の生命を尊び、安全で安心な社会づくりに貢献できる力を育成する。	3.5	A	3.3	A	3.3	A	A
人権教育	人権尊重 教育の推進	17 人権ガイドブックの活用、実践的な服務研修の充実を図る。	3.6	A	3.3	A	3.3	A	A
	人権教育の 充実	18 いじめや体罰等の早期発見と解決に努める。	3.5	A	3.3	A	3.2	A	A
進路指導	進路意識 の向上	19 目的意識を持って主体的に自己の進路を選択・決定できる力を育成する。	3.2	A	3.3	A	3.3	A	A
		20 将来の職業を見据え、主体的にキャリアプランを考える力を育成する。	3.7	A	3.5	A	3.4	A	A
	進路相談 の充実	21 進路相談の充実と環境整備を図る。	3.6	A	3.4	A	3.4	A	A
健康・ 安全管理	健康教育の 充実	22 健康の保持増進と自他の生命を尊重する健康教育を行う。	3.7	A	3.3	A	3.3	A	A
	教育相談の 充実	23 保健室やスクールカウンセラーと連携し、教育相談の充実を図る。	3.8	A	3.4	A	3.2	A	A
	教育環境の 整備・安全管理	24 校内美化、教育環境の整備・安全管理の充実を図る。	3.3	A	3.4	A	3.3	A	A
働き方改革		25 同僚・管理職との良好な人間関係の構築ができています。	3.4	A					A
		26 個人の裁量(ゆとり)ある時間の確保ができています。	2.6	B					B
		27 一人一人の生徒との信頼関係を深めることができています。	3.3	A					A
		28 より専門性を発揮するための研修や教材研究等が充実している。	3.2	A					A
		29 心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができています。	3.1	B					B

令和6年度 学校評価集計【教職員】

選択肢 ④よくあてはまる ③ややあてはまる ②あまりあてはまらない ①まったくあてはまらない

評価 A(4.0~3.2) B(3.1~2.4) C(2.3~1.6) D(1.5~1.0)

回答者数 74

項目	具体的目標	取組方針	教職員用 質問	平均	評価	④	率	③	率	②	率	①	率	③+④	③+④	
						よくあてはまる 人数		ややあてはまる 人数		あまりあてはまらない 人数		まったくあてはまらない 人数		の人数	の率	
学校経営	魅力ある学校づくり	1	学校教育目標の具現化に向けて、各チームの連携を密にし、円滑な校務運営に努める。	私たちは、各チームの連携を密に働きやすい職場づくり、円滑な校務運営に努めている。	3.4	A	36	48.6%	30	40.5%	8	10.8%	0	0.0%	66	89.2%
		2	教育課程の円滑な実施・研究改善に努める。	学校の教育課程(類型制・選択科目制)は、生徒の興味関心、進路に応じて適切に編成されている。	3.5	A	40	54.1%	32	43.2%	1	1.4%	1	1.4%	72	97.3%
		3	「SGHネットワーク研究校」として、総合的な探究の時間を通して、他者と協働して課題解決を図る生徒を育成する。	私たちは、総合的な探究の時間等を通して、生徒の課題発見能力や協働しながら課題解決する力を育成している。	3.1	B	28	37.8%	31	41.9%	12	16.2%	3	4.1%	59	79.7%
		4	異文化理解を深める学習活動を通して、「国際性・協調性」の育成に努める。	私たちは、異文化理解を深める学習活動を通して、生徒の「国際性・協調性」を育成している。	3.5	A	42	56.8%	27	36.5%	5	6.8%	0	0.0%	69	93.2%
	保護者・地域との連携	5	学校HPの活用、校舎壁・フェンスに懸垂幕・横断幕の掲示等により情報発信に努める。	私たちは、学校だより・学校HP・進路情報等により、生徒の様子を広く家庭や地域に発信している。	3.6	A	48	64.9%	25	33.8%	1	1.4%	0	0.0%	73	98.6%
		6	三者面談等を実施し、保護者との連絡を図る。	私たちは、三者面談等を通して保護者と連携して、生徒の学校生活や進路について一緒に考えている。	3.8	A	58	78.4%	16	21.6%	0	0.0%	0	0.0%	74	100.0%
授業・学習	授業改善(学力向上)	7	年間指導計画や評価方法について共有する。	私たちは、各教科の年間指導計画や成績評価の方法について、生徒に説明している。	3.6	A	45	60.8%	26	35.1%	3	4.1%	0	0.0%	71	95.9%
		8	不断の授業改善により、わかる授業を実践する。	私たちは、授業内容をわかりやすく工夫し、生徒の学習に関する質問や相談に丁寧に応えている。	3.7	A	54	73.0%	19	25.7%	1	1.4%	0	0.0%	73	98.6%
		9	主体的に学習に向かう態度を育成する。	私たちは、朝の時間(飛躍タイム)を活用し、生徒の自学自習の力を育成している。	3.2	A	30	40.5%	30	40.5%	14	18.9%	0	0.0%	60	81.1%
		10	「主体的・対話的で深い学び」による授業改善を通して、「向学心や探究心」を育てる。	私たちは、グループ活動やペア活動等の授業改善を通して、生徒の向学心や探究心を育成している。	3.6	A	45	60.8%	28	37.8%	0	0.0%	1	1.4%	73	98.6%
	IOTの活用	11	タブレット端末、スマートフォンなどICT機器を活用し情報活用能力を育成する。	私たちは、タブレット端末等を活用した授業実践で、生徒の情報活用能力を育成している。	3.6	A	50	67.6%	22	29.7%	2	2.7%	0	0.0%	72	97.3%
		12	図書資料の収集・整理・提供に努めるとともに、生徒及び職員の図書館利用を促進する。	学校図書館は、読書・学習活動等でよく利用できる体制が整っている。	3.7	A	54	73.0%	20	27.0%	0	0.0%	0	0.0%	74	100.0%
特別活動	学校行事等の充実	13	生徒会活動・HR活動の充実を図り、自主的・実践的な活動を企画・運営できる力を育成する。	私たちは、学校行事やホームルーム活動の充実を図り、生徒の自主的な企画力や運営力を育成している。	3.7	A	52	70.3%	21	28.4%	1	1.4%	0	0.0%	73	98.6%
		14	右文尚武(学業を尊び、部活動にも励む)を身に付けた逞しく生きる主体的な人間を育成する。	私たちは、部活動(特別活動)を奨励し、生徒の学校生活の充実感を高める体制を整えている。	3.6	A	48	64.9%	24	32.4%	2	2.7%	0	0.0%	72	97.3%
生徒指導	基本的な生活習慣の確立	15	凡事徹底(時間厳守、あいさつ、返事、身なり、整理整頓等)が実践できる力を育成する。	私たちは、凡事徹底(時間厳守、あいさつ、身なり、整理整頓等)を通して、生徒の自己管理能力を高めている。	3.2	A	31	41.9%	30	40.5%	13	17.6%	0	0.0%	61	82.4%
		16	安全の生命を尊び、安全で安心な社会づくりに貢献できる力を育成する。	私たちは、日常生活や交通面、災害時の安全について、生徒の安全指導に努めている。	3.5	A	39	52.7%	31	41.9%	4	5.4%	0	0.0%	70	94.6%
人権教育	人権尊重教育の推進	17	人権ガイドブックの活用、実践的な服務研修の充実を図る。	私たちは、人権意識の高揚を図るため、職員研修を行っている。	3.6	A	48	64.9%	23	31.1%	2	2.7%	1	1.4%	71	95.9%
		18	いじめや体罰等の早期発見と解決に努める。	私たちは、いじめや体罰等の人権問題の早期発見と対応体制ができています。	3.5	A	41	55.4%	28	37.8%	5	6.8%	0	0.0%	69	93.2%
進路指導	進路意識の向上	19	目的意識を持って主体的に自己の進路を選択・決定できる力を育成する。	私たちは、飛躍手帳・マナビジョン等を活用を推進し、生徒の自己管理能力を育成している。	3.2	A	24	32.4%	43	58.1%	6	8.1%	1	1.4%	67	90.5%
		20	将来の職業を見据え、主体的にキャリアプランを考える力を育成する。	私たちは、各種講座・対外模試等を効果的に設置し、生徒の進路意識の向上に努めている。	3.7	A	56	75.7%	17	23.0%	1	1.4%	0	0.0%	73	98.6%
	21	進路相談の充実と環境整備を図る。	私たちは、進路室の資料充実や学習支援ソフト(スタディサプリ)等の活用で、生徒に合った学びを提供している。	3.6	A	43	58.1%	29	39.2%	2	2.7%	0	0.0%	72	97.3%	
健康・安全管理	健康教育の充実	22	健康の保持増進と自他の生命を尊重する健康教育を行う。	私たちは、生徒の健康面・安全面の管理・対応をしっかりと行っている。	3.7	A	54	73.0%	18	24.3%	2	2.7%	0	0.0%	72	97.3%
		23	教職員や外部機関により、教育相談の充実を図る。	私たちは、教育相談室やスクールカウンセラー等、生徒や保護者が相談しやすい体制を整えている。	3.8	A	58	78.4%	16	21.6%	0	0.0%	0	0.0%	74	100.0%
		24	校内美化、教育環境の整備・安全管理の充実を図る。	私たちは、清掃活動、学習環境の整備・安全管理の充実を通して、生徒の公共心を育成している。	3.3	A	30	40.5%	37	50.0%	6	8.1%	1	1.4%	67	90.5%
働き方改革		25	同僚・管理職との良好な人間関係の構築ができています。		3.4	A	36	48.6%	31	41.9%	6	8.1%	1	1.4%	67	90.5%
		26	個人の裁量(ゆとり)ある時間の確保ができています。		2.6	B	12	16.2%	25	33.8%	30	40.5%	7	9.5%	37	50.0%
		27	一人一人の生徒との信頼関係を深めることができています。		3.3	A	26	35.1%	41	55.4%	7	9.5%	0	0.0%	67	90.5%
		28	より専門性を発揮するための研修や教材研究等が充実している。		3.2	A	23	31.1%	42	56.8%	9	12.2%	0	0.0%	65	87.8%
		29	心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができています。		3.1	B	19	25.7%	44	59.5%	10	13.5%	1	1.4%	63	85.1%

令和6年度 学校評価集計【生徒】

選択肢 ④よくあてはまる ③ややあてはまる ②あまりあてはまらない ①まったくあてはまらない

評価 A(4.0~3.2) B(3.1~2.4) C(2.3~1.6) D(1.5~1.0)

回答者数 776

項目	具体的目標	取組方策	生徒用 質問	平均	評価	④		③		②		①		③+④の人数	③+④の率	
						よくあてはまる(人数)	率	ややあてはまる(人数)	率	あまりあてはまらない(人数)	率	まったくあてはまらない(人数)	率			
学校経営	魅力ある学校づくり	1	学校教育目標の具現化に向けて、各チームの連携を密にし、円滑な校務運営に努める。	学校生活は充実しており、那覇国際高校に入学して良かった。	3.5	A	435	56.1%	300	38.7%	31	4.0%	10	1.3%	735	94.7%
		2	教育課程の円滑な実施・研究改善に努める。	学校の教育課程(類型制・選択科目制)は、私たちの興味関心、進路に応じて適切に編成されている。	3.2	A	264	34.0%	433	55.8%	72	9.3%	7	0.9%	697	89.8%
		3	「SGHネットワーク研究校」として、総合的な探究の時間を通して、他者と協働して課題解決を図る生徒を育成する。	学校は、総合的な探究の時間等を通して、私たちの課題発見能力や協働しながら課題解決する力を育成している。	3.1	B	215	27.7%	422	54.4%	114	14.7%	25	3.2%	637	82.1%
		4	異文化理解を深める学習活動を通して、「国際性・協調性」の育成に努める。	学校は、異文化理解を深める学習活動を通して、私たちの「国際性・協調性」を育成している。	3.0	B	208	26.8%	376	48.5%	165	21.3%	27	3.5%	584	75.3%
	保護者・地域との連携	5	学校HPの活用、校舎壁・フェンスに懸垂幕・横断幕の掲示等により情報発信に努める。	学校は、学校だより・学校HP・進路情報等により、私たちの様子を広く家庭や地域に発信している。	3.4	A	381	49.1%	339	43.7%	50	6.4%	6	0.8%	720	92.8%
		6	三者面談等を実施し、保護者との連絡を密に行う。	学校は、三者面談等を通して保護者と連携して、私の学校生活や進路について一緒に考えてくれている。	3.4	A	345	44.5%	383	49.4%	39	5.0%	9	1.2%	728	93.8%
授業・学習	授業改善(学力向上)	7	年間指導計画や評価方法について共有する。	学校は、各教科の年間指導計画や成績評価の方法について、私たちに説明している。	3.4	A	365	47.0%	338	43.6%	62	8.0%	11	1.4%	703	90.6%
		8	不断の授業改善により、わかる授業を実践する。	学校は、授業内容をわかりやすく工夫し、私たちの学習に関する質問や相談に丁寧に応えている。	3.3	A	318	41.0%	385	49.6%	64	8.2%	9	1.2%	703	90.6%
		9	主体的に学習に向かう態度を育成する。	学校は、朝の時間(飛躍タイム)を活用し、私たちの自学自習の力を育成している。	3.3	A	342	44.1%	355	45.7%	72	9.3%	7	0.9%	697	89.8%
		10	「主体的・対話的で深い学び」による授業改善を通して、「向学心や探究心」を育てる。	私たちは、グループ活動やペア活動の授業に、主体的に参加している。	3.6	A	465	59.9%	287	37.0%	22	2.8%	2	0.3%	752	96.9%
	ICTの活用	11	タブレット端末、スマートフォンなどICT機器を活用し情報活用能力を育成する。	学校は、タブレット端末等を活用した授業で、私たちの情報活用能力を育成している。	3.6	A	482	62.1%	251	32.3%	37	4.8%	6	0.8%	733	94.5%
		12	図書資料の収集・整理・提供に努めるとともに、生徒及び職員の図書館利用を促進する。	学校図書館は、読書・学習活動等によく利用できる体制が整っている。	3.6	A	499	64.3%	247	31.8%	29	3.7%	1	0.1%	746	96.1%
特別活動	学校行事等の充実	13	生徒会活動・HR活動の充実を図り、自主的・実践的な活動を企画・運営できる力を育成する。	学校は、学校行事やホームルーム活動の充実を図り、私たちの自主的な企画力や運営力を育成している。	3.5	A	443	57.1%	279	36.0%	44	5.7%	10	1.3%	722	93.0%
	部活動の充実	14	右文尚武(学業を尊び、部活動にも励む)を身に付けた逞しく生きる主体的な人間を育成する。	学校は、部活動(特別活動)を奨励し、私たちの学校生活の充実感を高めている。	3.4	A	386	49.7%	310	39.9%	69	8.9%	11	1.4%	696	89.7%
生徒指導	基本的生活習慣の確立	15	凡事徹底(時間厳守、あいさつ、返事、身なり、整理整頓等)が実践できる力を育成する。	学校は、凡事徹底(時間厳守、あいさつ、身なり、整理整頓等)を通して、私たちの自己管理能力を高めている。	3.4	A	364	46.9%	355	45.7%	45	5.8%	12	1.5%	719	92.7%
	安全教育の充実	16	自他の生命を尊び、安全で安心な社会づくりに貢献できる力を育成する。	学校は、日常生活や交通面、災害時の安全について、私たちの安全指導に取り組んでいる。	3.3	A	312	40.2%	363	46.8%	84	10.8%	17	2.2%	675	87.0%
人権教育	人権尊重教育の推進	17	人権ガイドブックの活用、実践的な服務研修の充実を図る。	学校は、講演会やHRを通して、私たちの人権意識の高揚を図っている。	3.3	A	330	42.5%	366	47.2%	64	8.2%	16	2.1%	696	89.7%
	人権教育の充実	18	いじめや体罰等の早期発見と解決に努める。	学校は、いじめや体罰等の人権問題の早期発見と対応体制ができています。	3.3	A	324	41.8%	389	50.1%	47	6.1%	16	2.1%	713	91.9%
進路指導	進路意識の向上	19	目的意識を持って主体的に自己の進路を選択・決定できる力を育成する。	学校は、飛躍手帳・マナビジョン等を活用を推進し、私たちの自己管理能力を育成している。	3.3	A	345	44.5%	356	45.9%	62	8.0%	13	1.7%	701	90.3%
		20	将来の職業を見据え、主体的にキャリアプランを考える力を育成する。	学校は、各種講座・対外模試等を効果的に設置し、私たちの進路意識の向上に効果を上げている。	3.5	A	435	56.1%	304	39.2%	32	4.1%	5	0.6%	739	95.2%
	進路相談の充実	21	進路相談の充実と環境整備を図る。	学校は、進路室の資料充実や学習支援ソフト(スタディサプリ)等の活用で、私たちに合った学びを提供している。	3.4	A	385	49.6%	341	43.9%	46	5.9%	4	0.5%	726	93.6%
健康・安全管理	健康教育の充実	22	健康の保持増進と自他の生命を尊重する健康教育を行う。	学校は、私たちの健康面・安全面の管理・対応をしっかりと行っている。	3.3	A	334	43.0%	373	48.1%	53	6.8%	16	2.1%	707	91.1%
	教育相談の充実	23	教職員や外部機関により、教育相談の充実を図る。	学校は、教育相談室やスクールカウンセラー等、生徒や保護者が相談しやすい体制を整えている。	3.4	A	380	49.0%	334	43.0%	46	5.9%	16	2.1%	714	92.0%
	教育環境の整備・安全管理	24	校内美化、教育環境の整備・安全管理の充実を図る。	学校は、学習環境が整備され、私たちは清掃活動によく取り組んでいる。	3.4	A	398	51.3%	328	42.3%	46	5.9%	4	0.5%	726	93.6%

令和6年度 学校評価集計【保護者】

選択肢 ④よくあてはまる ③ややあてはまる ②あまりあてはまらない ①まったくあてはまらない
 評価 A(4.0~3.2) B(3.1~2.4) C(2.3~1.6) D(1.5~1.0)

回答者数 418

項目	具体的目標	取組方針	保護者用質問	平均	評価	④	③	②	①	③+④ の人数	③+④ の率					
						よくあてはまる 人数	率	ややあてはまる 人数	率			あまりあてはまらない 人数	率	まったくあてはまらない 人数	率	
学校経営	魅力ある学校づくり	1	学校教育目標の具現化に向けて、各チームの連携を密にし、円滑な校務運営に努める。	学校は、教育目標・方針を分かりやすく保護者に伝え、子どもは充実した学校生活を送っている。	3.4	A	191	45.7%	212	50.7%	14	3.3%	1	0.2%	403	96.4%
		2	教育課程の円滑な実施・研究改善に努める。	学校の教育課程(類型制・選択科目制)は、子どもの興味関心、進路に応じて適切に編成されている。	3.3	A	157	37.6%	237	56.7%	23	5.5%	1	0.2%	394	94.3%
		3	「ISGHネットワーク研究校」として、総合的な探究の時間を通して、他者と協働して課題解決を図る生徒を育成する。	学校は、総合的な探究の時間等を通して、子どもの課題発見能力や協働しながら課題解決する力を育成している。	3.3	A	146	34.9%	238	56.9%	29	6.9%	5	1.2%	384	91.9%
		4	異文化理解を深める学習活動を通して、「国際性・協調性」の育成に努める。	学校は、異文化理解を深める学習活動を通して、子どもの「国際性・協調性」を育成している。	3.2	A	128	30.6%	234	56.0%	51	12.2%	5	1.2%	362	86.6%
	保護者・地域との連携	5	学校HPの活用、校舎壁・フェンスに懸垂幕・横断幕の掲示等により情報発信に努める。	学校は、学校だより・学校HP・進路情報等により、子どもの様子を広く家庭や地域に発信している。	3.6	A	280	67.0%	127	30.4%	10	2.4%	1	0.2%	407	97.4%
		6	三者面談等を実施し、保護者との連絡を密に行う。	学校は、三者面談等を通して保護者と連携し、子どもの学校生活や進路について一緒に考えてくれている。	3.3	A	188	45.0%	191	45.7%	32	7.7%	7	1.7%	379	90.7%
授業・学習	授業改善(学力向上)	7	年間指導計画や評価方法について共有する。	学校は、各教科の年間指導計画や成績評価の方法について、子どもに説明している。	3.3	A	160	38.3%	218	52.2%	33	7.9%	7	1.7%	378	90.4%
		8	不断の授業改善により、わかる授業を実践する。	学校は、授業内容をわかりやすく工夫し、子どもの学習に関する質問や相談に丁寧に対応している。	3.2	A	122	29.2%	245	58.6%	44	10.5%	7	1.7%	367	87.8%
		9	主体的に学習に向かう態度を育成する。	学校は、朝の時間(飛躍タイム)を活用し、子どもの自学自習の力を育成している。	3.2	A	138	33.0%	236	56.5%	40	9.6%	4	1.0%	374	89.5%
		10	「主体的・対話的で深い学び」による授業改善を通して、「向学心や探究心」を育てる。	学校は、グループ活動やペア活動等の授業改善を通して、子どもの向学心や探究心を育成している。	3.3	A	145	34.7%	239	57.2%	30	7.2%	4	1.0%	384	91.9%
	ICTの活用	11	タブレット端末、スマートフォンなどICT機器を活用し情報活用能力を育成する。	学校は、タブレット端末等を活用した授業で、子どもの情報活用能力を育成している。	3.5	A	229	54.8%	167	40.0%	18	4.3%	4	1.0%	396	94.7%
		12	図書資料の収集・整理・提供に努めるとともに、生徒及び職員の図書館利用を促進する。	学校図書館は、読書・学習活動等よく利用できる体制が整っている。	3.2	A	133	31.8%	241	57.7%	41	9.8%	3	0.7%	374	89.5%
特別活動	13	学校行事等の充実	生徒会活動・HR活動の充実を図り、自主的・実践的な活動を企画・運営できる力を育成する。	学校は、学校行事やホームルーム活動の充実を図り、子どもの自主的な企画力や運営力を育成している。	3.4	A	192	45.9%	206	49.3%	17	4.1%	3	0.7%	398	95.2%
	14	部活動の充実	右文尚武(学業を喜び、部活動にも励む)を身に付けた逞しく生きる主体的な人間を育成する。	学校は、適切な部活動指導等を行い、子どもは学業と部活動(特別活動)の両立ができています。	3.3	A	186	44.5%	186	44.5%	41	9.8%	5	1.2%	372	89.0%
生徒指導	15	基本的生活習慣の確立	凡事徹底(時間厳守、あいさつ、返事、身なり、整理整頓等)が実践できる力を育成する。	学校は、凡事徹底(時間厳守、あいさつ、身なり、整理整頓等)を通して、子どもの自己管理能力を高めている。	3.3	A	163	39.0%	229	54.8%	23	5.5%	3	0.7%	392	93.8%
	16	安全教育の充実	自他の生命を尊び、安全で安心な社会づくりに貢献できる力を育成する。	学校は、日常生活や交通面、災害時の安全について、子どもの安全指導に取り組んでいる。	3.3	A	157	37.6%	234	56.0%	25	6.0%	2	0.5%	391	93.5%
人権教育	17	人権尊重教育の推進	人権ガイドブックの活用、実践的な服務研修の充実を図る。	学校は、講演会やHRを通して、子どもの人権意識の高揚を図っている。	3.3	A	163	39.0%	230	55.0%	22	5.3%	3	0.7%	393	94.0%
	18	人権教育の充実	いじめや体罰等の早期発見と解決に努める。	学校は、いじめや体罰等の人権問題の早期発見と対応体制ができています。	3.2	A	108	25.8%	270	64.6%	38	9.1%	2	0.5%	378	90.4%
進路指導	進路意識の向上	19	目的意識を持って主体的に自己の進路を選択・決定できる力を育成する。	学校は、飛躍手帳・マナビジョン等を活用を推進し、子どもの自己管理能力を育成している。	3.3	A	157	37.6%	221	52.9%	33	7.9%	7	1.7%	378	90.4%
		20	将来の職業を見据え、主体的にキャリアプランを考える力を育成する。	学校は、各種講座・対外模試等を効果的に設置し、子どもの進路意識の向上に効果を上げている。	3.4	A	208	49.8%	186	44.5%	21	5.0%	3	0.7%	394	94.3%
	21	進路相談の充実	進路相談の充実と環境整備を図る。	学校は、進路室の資料充実や学習支援ソフト(スタディサプリ)等の活用で、子どもに合った学びを提供している。	3.4	A	194	46.4%	194	46.4%	28	6.7%	2	0.5%	388	92.8%
健康・安全管理	22	健康教育の充実	健康の保持増進と自他の生命を尊重する健康教育を行う。	学校は、子どもの健康面・安全面の管理・対応をしっかりと行っている。	3.3	A	153	36.6%	234	56.0%	25	6.0%	6	1.4%	387	92.6%
	23	教育相談の充実	教職員や外部機関により、教育相談の充実を図る。	学校は、教育相談室やスクールカウンセラー等、生徒や保護者が相談しやすい体制を整えている。	3.2	A	122	29.2%	247	59.1%	42	10.0%	7	1.7%	369	88.3%
	24	教育環境の整備・安全管理	校内美化、教育環境の整備・安全管理の充実を図る。	学校は、清掃活動、学習環境の整備・安全管理が整っており、子どもの公共心を育成している。	3.3	A	164	39.2%	224	53.6%	23	5.5%	7	1.7%	388	92.8%

(第2号様式)

那覇国際第2512号
令和7年3月17日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立那覇国際高等学校
校長 仲宗根 勝
(公印省略)

令和6年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和6年12月11日付け教県第1582号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和6年7月12日 15:25~16:25	場所	本校小会議室	出席 状況	学校評議委員4名、 管理者4名、各主任4名
第2回	日時	令和6年12月20日 15:25~16:25	場所	本校小会議室	出席 状況	学校評議委員3名、 管理者4名、各主任7名
第3回	日時	令和7年3月14日 15:25~16:25	場所	本校小会議室	出席 状況	学校評議委員4名、 管理者4名、各主任5名

2 学校評議員に求めた事項

- ①学校教育目標(学校経営グランドデザイン)の説明(第1回)
- ②各部・各学年の今年度の取組目標及び具体的方策の説明(第1回)
- ③各部・各学年の今年度取組状況(第2回)
- ④新校時程に関するアンケート結果(生徒向け)(第2回)
- ⑤令和6年度学校評価結果説明(第3回)

3 学校評議員の意見

①海外進学を含めた進路指導・説明会等の実施、②時間管理など手帳活用の推奨(手帳レイアウトの変更等)、③活動の積極的な配信、閲覧状況の確認、④学校評価の仕方の工夫が必要、⑤主体的な学習に向かう態度の育成、⑥多様な意見を共有できる学年会の持ち方の工夫、⑦(新校時程の評価)客観的なデータ比較、⑧1年時における「絆づくり」評価、⑨りゅうぎん海外留学支援事業の活用、⑩海外からの留学生の受け入れ推奨、⑪人工知能や生成AIの活用推進、⑫情報リテラシー等の向上、相互理解を深める機会の拡充、⑬働き方改革のさらなる取組強化(生徒と向き合う時間創出)、⑭課外活動における外部人材の活用、⑮昨年度に比べて、保護者の評価が大幅改善、引き続き、保護者への周知徹底を(HPやスクリレ)、⑯教職員と生徒・保護者の評価の差異は、評価基準等の検討も含めて改善が必要。教師の評価が低いのが気になる(「国際性・協調性」の育成、主体的に学習に向かう態度等)、⑰体験活動の拡充・フィードバック、⑱生徒の自主性向上の取組や外部人材の活用が働き方改革推進につながるはず。⑲ゆとり教育の理解、⑳生徒からの要望等を聞く機会はあるか(那覇国際ならではの「国際性」)、㉑異文化理解推進に加えて、自らの文化も学ぶ取組も重要

4 学校運営に反映した事項

①スクリレの全学年導入(学校の教育活動の積極的な配信)、ペーパーレス化、印刷業務の負担軽減、既読状況、②ニュージーランド大使館・ニュージーランドワンガヌイ市教育関係者との交流、③台湾の国立雲林科技大学の説明会(1月予定→中止)、④教員業務支援員の応募(各種留学事業等の手続きチェックなど)、⑤教育DXのより一層の推進(ペーパーレス化、会議の工夫)、⑥課外活動における保護者への協力依頼、⑦毎月の衛生委員会、産業医面談実施(長時間勤務者への声かけ等)、⑧課題の出し方工夫・改善(個別最適)、⑨人権に関する外部講師を活用したワークショップの実施、⑩琉球舞踊・空手等の文化学習実施

5 課題その他

- ①働き方改革・教育DXの推進(外部人材等の活用、新校時程の検証・検討・改善、生徒と向き合う時間・ゆとりの時間の創出)
 - ②普通科を巻き込んだ国際性を養う取組(課外だけでなく授業も含む)
 - ③探究活動のてこ入れ(進路実現、キャリアにつなげる)
- ※病気休暇・研修等に係る人材確保等の課題もあり。